

会の特性を生かした施策

デビットカード静岡県連絡会の主な活動施策は、J-Debit普及推進の行事開催や講演会、研修会、意見交換会の開催など。年会費1万円と、会員からのキャンペーン時の景品提供といった活動資本を有効利用し、全県ベース多業種ならではの施策をとられています。

広く告知という点では、「消費者にわかりやすく」をモットーに統一ツールを作成しています。作成したツールは加盟店、金融機関の各支店に掲示。統一ツールなので、お客様は県内のあらゆる所で繰り返し目にすることになり、認知度UPに効果的です。

また、「加盟店一覧表」を作成、加盟店舗・交通機関、金融機関各支店などに掲示し、各所の周辺でJ-Debitの利用可能な場所がわかるようにしています。

会の施策の目玉はやはり「利用促進キャンペーン」の継続実施。ボーナス月に照準を合わせ、会員各社による一斉キャンペーンを計画し、デビットカード静岡県連絡会としてプレス発表をします。景品、掲示物なども統一し、景品は会費や各社持ち寄りにて準備します。

<統一ポスター（キャンペーン版）>



「個々で利用促進を考えキャンペーン等を計画してもマスメディアにとりあげられる事は少ないし、ポスター等の作成についても費用が掛かり、大規模にはできない。1社や1業種だけでは無理な事が、会を発足した事で可能となりました」、と斉藤様。

また、「宣伝・広告活動への補助金支給」の制度もあります。会員が独自の宣伝案を提出すると、当会事務局にて検討、内容に応じて補助金2～5万円が支給されます。これにより、個社の利用促進活動の活発化も図られます。

Pick up 活動状況

13年度

5/9

「デビットカード静岡県連絡会」発足告知

※新聞紙上掲載：静岡新聞、中日新聞

7/20～22

「新静岡センター利用キャンペーン」

※利用件数（1日あたり）：7/1～7/19の約4倍

※アンケート回収件数は368件。

8/2

「新静岡センターアンケート結果」ニュース・リリース

—認知度4割 徐々に浸透—

※新聞紙上掲載：静岡新聞、日本経済新聞、中日新聞、産経新聞

9/23

「ジャンボエンチョー富士店 利用キャンペーン」

—J-Debit利用のお客様に景品の進呈—

※利用件数（1日あたり）：通常日曜日の約6倍

※新聞紙上掲載：静岡新聞

9/28～30

「ジャンボスポーピアシラトリ全11店舗利用キャンペーン」

—J-Debit利用のお客様に景品の進呈—

※利用件数（1日あたり）：9月週末平均の約2倍

※新聞紙上掲載：静岡新聞

11/12

「デビットカード静岡県連絡会 報告会」開催

12/15～16

「県下一斉利用促進キャンペーン」

—景品の進呈—

※各社デビットカード静岡県連絡会「のぼり」使用

※景品提供17社

14年度

- ・キャンペーン継続実施
- ・加盟店一覧作成
- ・宣伝・広告活動への補助金制度実施
- ・「デビットカード静岡県連絡会総会」開催

<のぼりを利用した告知>

